



みどりの里

宇奈月小学校だより
第 11 号
平成 30 年 12 月 5 日

目指す子供像 うんとかがえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山 205 番地 1
TEL (0765) 65-2288 FAX (0765) 65-2800

URL <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

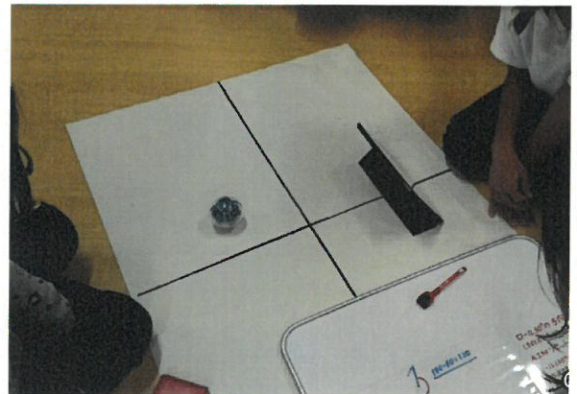
これからの教育に求められるもの プログラミング教育

校長 四杉 昭康

昨年 3 月に、国では新しい学習指導要領が改訂され、2020 年度から（中学校は 2021 年度から）それに沿った学習が本格的に始まります。今年度からの 2 年間は移行期間として、学習内容が変更した点（国語の学年配当漢字や算数の追加内容等）についてはすでに取り組んでいます。

2011 年に発表されたアメリカのデューク大学のキャシー・デビッドソン教授の「2011 年に小学生となる子供の 65% は、大学卒業時、今は存在していない仕事に就くだろう」という予測は、世界中に大きな影響を与えました。また、IT が高度に発達したこれからの社会では、AI（人工知能）が大きな役割を果たし、将来人間に代わって AI やロボットに置き換わるとされる職業や新たに生み出される職業等も様々な記事等で目にするようになりました。家電店でよく見かけるロボット掃除機や AI スピーカー等、すでに製品化されているもののほか、IT 産業や医療、経済、交通、農業等をはじめ、あらゆる分野で AI の可能性が期待されています。

これからの新しい時代、学校教育に求められるものは多岐に渡っています。特に、今回の学習指導要領の改訂で「プログラミング」が新たに登場しました。その総則では「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を、各教科の特質に応じて計画的に実施すること」と示されています。算数や理科、総合的な学習時間等を中心に、各学校がプログラミングを体験する学習をどの学年やどの教科の学習で取り入れるか計画していく必要があります。先日、プログラミング教育に先進的に取り組んでいる小学校の研究会に参加する機会がありました。5 年生の算数の図形の学習で、球体ロボットに指示（プログラミング）を与えると、その球体ロボットが指示通りに転がり図形を描く活動が取り入れられていました。児童はグループごとにタブレットを使って指示を打ち込み、ロボットの動きを観察してその軌跡を確かめていました。本校でも 2020 年度からの本格実施に向けて準備を進めているところです。



先進校のプログラミング教育

小学校におけるプログラミング教育は、プログラミング言語を覚えコンピュータを使えるようにすることではなく、プログラミングの体験を通して日常生活にコンピュータが活用されていることや問題解決には必要な手順があることに気付くこと、基礎的な「プログラミング的思考」やコンピュータの働きを自分の生活に生かそうとする態度を身に付けることとされています。これまで長年重視されてきた言語能力の育成や各教科における思考力の育成等と併せて、その実現を図ることが大切です。情報化社会の中で、学校は児童生徒が単に知識や技術を習得するだけでなく、他者と協働して課題を解決したり、様々な情報を見極め再構成するなどして新たな価値を見いだしたりしながら、豊かな感性や目的に応じた思考力、判断力、表現力を育てていかなければなりません。これからの教育に求められるものを見据え、学校でしか実現し得ない教育を追求していきたいと思えます。

フリー参観に多数ご参加いただきありがとうございました！

11月10日（土）のフリー参観日には、多くの保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。午前の部だけでなく、給食の様子や午後の部、そしてPTA会員研修会にも多数ご参加いただきました。これまでの子供たちの成長の様子を感じていただけたものと思います。



1年 図画工作



1年 学級活動



2年 学級活動



2年 国語（書写）



3年1組 音楽



3年2組 道徳



4年1組 社会



4年2組 理科



5年 社会（米の脱穀体験）



5年 社会（米の脱穀体験）



6年1組 国語



6年2組 国語（書写）

PTA会員研修「おしゃべりカフェ」では、19名の保護者の皆さんが参加されました。子育てに関する具体的な思いを気軽に語り合い、充実した時間を過ごすことができました。



いのちの授業から

養護教諭 津幡洋子

6年生は、11月10日のフリー参観で、講師にお招きしたあわの産婦人科の師長水島香苗助産師さんから「いのち」についての話を聞きました。命の始まりがとても小さな受精卵だったことや、お母さんのお腹の中での成長の様子、ご先祖様から何代も受け継がれてきたかけがえのない自分の命であること等を学びました。また、4組の親子にも来ていただき、かわいい赤ちゃんに触れ合う体験もしました。「お母さんが大変な思いをして生んだ赤ちゃんだから」と少し緊張しながら抱っこをしたり、抱っこをすると自然と笑顔になったりするなど、様々な6年生の姿が見られた優しく温かい時間になりました。

その後を読んだ家族からの「いのちのメッセージカード」から、「生んでくれたお母さん、それを支えたお父さん、お母さんをサポートした助産師さん、みんながいたから今生きていられる」と感じた子供や、「自分のことをとても大切にしていることが分かり、命を大切にしようと思った」と感想に書いていた子供もいました。この授業で、自分や周りの人の命の尊さ、そして家族の愛情を感じとり、一人一人が「いのち」の大切さを受け止めたのではないかと思います。



「そっと、そっと大事に……」

「自分もこうだったのかな」

「いのちって尊いね」

茶道クラブが「あいの風」で活動の成果を発表！

11月21日（水）、茶道クラブが特定非営利活動法人「あいの風」を訪問し、これまでのクラブ活動の成果を発表し、お年寄りの皆さんと触れ合いました。少し緊張した様子でしたが、お茶を点てたり、お運びをしたりして、温かな時間を過ごしました。お年寄りの皆さんに大変喜んでいただいたことに子供たちは満足感を味わっていました。



お年寄りと触れ合う和やかな一時



少し緊張して発表しました



活動の成果を発揮して

人権について考えよう……心もからだもぽかぽか集会

11月26日（月）、12月4日～10日の人権週間に合わせて、児童集会「心もからだもぽかぽか集会」を開きました。人権について考えたり、4年生による詩「言葉づかいの悪いあなたへ」の発表を聞いたりしました。縦割りグループでしゃべらずにコミュニケーションをとるゲームをしたり、ダンスクラブがダンスを披露し全校児童で楽しくダンスをしたりして、心もからだも本当に温かくなりました。



人権についての説明



4年生の人権に関する詩の群読発表



ダンスクラブの発表

河川の災害に備えて……洪水対応避難訓練

11月28日（水）、黒部川の堤防が決壊したことを想定した避難訓練を実施しました。黒部川流域洪水ハザードマップによると、概ね100年に1回程度起こる大雨（二日間の雨量455mm）の場合に黒部川が破堤する可能性があるとして、宇奈月小学校も50cm未満の浸水地域となっています。そのため、小学校より高台にある浦山交流センターまで避難する訓練を行いました。「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉にあるように、多くの災害を忘れず教訓とすることが大切であることを感じた一日となりました。



あわてず落ち着いて避難



入念な人員点呼による避難確認



水害には「まずは高台へ」

その他の学校生活から



就学時健康診断（5年生引率）



すこやか集会（学校保健委員会）



2年 生活 「町探検」(宇奈月温泉地区)



黒部地場産学校給食の日ふれあい会食